

令和5年度 千葉市動物公園 アカデミア・アニマリウム講演会 開催記録

◇ アカデミア・アニマリウム講演会とは？

2020年より、当園の研究・教育活動を「**アカデミア・アニマリウム（動物をめぐる学術の場）**」と称し、活動を推進しています。アカデミア・アニマリウムのキーワードは『**学術（Academic）**』であり、「科学的情報の収集・発信」および、「学びの場」となることを目的としています。また、本活動は、当園単独で行うものにとどまらず、さまざまな連携先（学校、研究・学術団体、企業など）とも行う全ての研究・教育活動が含まれます。このアカデミア・アニマリウムの活動の一環として、当園では各分野の専門家とも連携し、科学情報を広く発信する場として「**アカデミア・アニマリウム講演会**」を開催しています。

◇ 令和5年(2023年)度の講演会総括

令和5年度は、当園と連携研究を行う各機関を中心にご協力をいただき、講演会の実施回数および参加者数がいずれも昨年度を上回りました（実施回数：昨年度比+10回、参加者数：昨年度比+1,477人）。特に、レッサーパンダ「風太」が20歳を迎える節目の年であったことから、「風太20th Anniversary 講演会」と題して、レッサーパンダに関する知見の発信を強化する講演会シリーズを実施し、飼育や研究の最新情報を紹介することで、その魅力と動物園の果たす役割を広く伝える機会となりました。加えて、「屠体給餌プロジェクト報告会」および「風太20th Anniversary 講演会」では、クラウドファンディングによりご支援いただいた各プロジェクトの進捗や成果報告も行いました。さらに、近年では高校生が主体的に研究に取り組む事例が増加していることを受け、新たに高校生による研究発表の場も設けました。あわせて、本年度の新たな取り組みとして公式YouTubeを活用した講演会のライブ配信を導入しました。未発表の研究データを含む場合には配信が難しいケースもありますが、より多くの方にご参加いただけるよう、配信機会の拡充についても検討してまいります。

◇ 月別の実施回数と参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数（配信件数）	-	2	2	2	1	4	2	8(3)	5	8	-	2(1)	36(4)
参加人数	-	151	186	268	70	323	122	1059	300	577	-	164	3220
（うち配信参加人数）	-	-	-	-	-	-	-	(518)	-	-	-	(94)	(612)

◇ 令和5年度の講演会シリーズ一覧

- [屠体給餌プロジェクト報告会](#)
- [ちばZOOフェスタ「生物多様性フォーラム」](#)
- [野生動物との共生を考える](#)
- [ヒトと動物の関係学会](#)
- [飼育員特別ガイド](#)
- [動物園でデザイン学](#)
- [風太20th Anniversary 講演会](#)
- [ゴリラ関係（世界ゴリラの日、アフリカトーク）](#)
- [大池セミナー](#)
- [公開飼育研究会](#)
- [千葉大学オープンセミナー](#)
- [科学館の動物ガイド](#)
- [東邦大学オープンセミナー](#)
- [夏休み特別企画、高校生による研究報告会](#)

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

屠体給餌プロジェクト報告会 (全3回)

5月20日(土) 第2回「屠体給餌プロジェクト報告会」1日目

① 千葉市動物公園の屠体給餌プロジェクト

講演者: 千葉市動物公園 教育普及啓発員 平田 絢子

内容: 皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」など屠体給餌プロジェクトの概要をお話します。

② 捕獲個体を用いた屠体給餌:動物園における動物福祉と地域の獣害問題を結びつけ、環境教育への波及を目指す取り組み

講演者: 日本大学 生物資源科学部 動物学科 教授 細谷 忠嗣

内容: 増え過ぎた野生動物による農林業等への被害対策として捕獲が進められ、捕獲個体の利活用が課題となっている。捕獲個体を適切に処理し動物園の肉食動物に屠体給餌する手法を取り入れ、来園者への環境教育イベントへの活用も進めている。

③ (研究報告)屠体肉の栄養評価

講演者: 千葉市動物公園 研究員 中山 侑

内容: 皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」の支援金により、屠体給餌の科学的検証を進めています。その一つに屠体給餌の栄養面での有用性や適切な栄養管理を行うための方法を検討しています。今回は現在の状況についてご報告させていただきます。

④ (研究報告)ブチハイエナにおける屠体給餌が夜間の行動に及ぼす影響

講演者: 東邦大学大学院理学研究科 修士課程1年生

東邦大学理学部生物学科 准教授 井上 英治

内容: 千葉市動物公園では、肉食動物に皮や骨がついたままの肉を与える屠体給餌が行われています。撮影された動画を用いて、給餌前後の動物たちの行動の変化について調査を進めており、今回の発表では、寝室におけるハイエナの行動の変化についての解析を紹介いたします。

⑤ 2日目セッションへのプロローグ~ 1008株代表辻栄様と鍋木園長のトークセッション

講演者: 1008株式会社 代表取締役 辻 栄 亮

千葉市動物公園 園長 鍋木 一誠

動物たちに
より豊かで幸せな日々を

Academia animalium アカデミア・アニマリウム

「屠体給餌プロジェクト」
2023年 報告会

会場: 千葉市動物公園・動物科学館内レクチャールーム

5月20日(土) ~屠体給餌プロジェクト~
取り組み意義と学術検証

1) 13:00~13:25	千葉市動物公園屠体給餌プロジェクトの概要	平田 絢子 (千葉市動物公園 教育普及啓発員)
2) 13:25~14:20	捕獲個体を用いた屠体給餌:動物園・観光施設・環境教育	細谷 忠嗣 (日本大学 生物資源科学部 動物学科 教授)
3) 14:20~15:00	【研究報告】屠体肉の栄養評価	中山 侑 (千葉市動物公園 研究員)
4) 15:00~15:30	【研究報告】ブチハイエナにおける屠体給餌が夜間の行動に及ぼす影響	井上 英治 (東邦大学理学部生物学科 准教授)
5) 15:30~16:00	2日目セッションへのプロローグ~ 1008株式会社代表と鍋木園長のトークセッション	辻 栄 亮 (1008株式会社 代表取締役) / 鍋木 一誠 (千葉市動物公園 園長)

5月21日(日) ~有害鳥獣問題を考える~
実態と「命を無駄にしない取り組み」

1) 10:30~11:00	千葉市における有害鳥獣被害(生活被害)の実態と対策	町田 啓 (千葉市環境局 環境保全部 環境保全課 主査)
2) 11:00~11:30	野生鳥獣による農作物被害を減らすための対策	大谷 直樹 (千葉市経済農政局 農政部 農政センター 農業経営支援課 課長補佐)
3) 12:30~13:30	命の授業	原田 祐介 (猟師工房 代表)
4) 13:40~14:40	持続可能な環境利用としてのジビエ	沖 浩志 (館山ジビエセンター 合同会社アルコ)
5) 14:50~15:50	園地を実現する最後のピース「チガレザン」	大塚 勇太 (シラネアオイ園 園長)

千葉市動物公園 Chiba Zoological Park

詳細はこちら!! →

5月21日(日) 第2回「屠体給餌プロジェクト報告会」2日目

① 千葉市における有害鳥獣被害(生活被害)の実態と対策

講演者: 千葉市環境局 環境保全部 環境保全課 主査 町田 啓

内容: 千葉市内における有害鳥獣の被害(農作物などを除いた生活被害)の実態と、市で実施している対策についてお伝えします。

② 野生鳥獣による農作物被害を減らすための対策

講演者: 千葉市経済農政局 農政部 農政センター 農業経営支援課

課長補佐 大谷 直樹

内容: イノシシ、アライグマ、ハクビシン等、農作物被害をもたらす鳥獣の千葉市内での生息・拡大の現状と、市が行っている農作物被害を防止するための捕獲や農地への侵入防止対策等について、千葉市農政センターの職員が紹介。

③ 命の授業

講演者: 猟師工房 代表 原田 祐介

内容: 国内、特に千葉県において有害鳥獣として駆除された生き物達がどうなっているのか。また、今後何を行なっていくべきか?

④ 持続可能な環境利用としてのジビエ

講演者: 館山ジビエセンター 合同会社アルコ 沖 浩志

内容: 全国の中山間地域で課題となっている獣害。館山ジビエセンターではジビエを肉としての利用だけではなく、地域の自然資源を持続的に利用するために活動している。当発表では活動事例について報告する。

屠体給餌プロジェクト報告会

【11月11日(土) 続き】

⑤ 循環を実現する最後のピース「チバレザー」

講演者：シシノメラボ 安房野生獣革ラボ 大阪谷 未久

内容：駆除された個体のジビエ活用が進んできたなか、なぜ皮の利用は進まないのか。皮活用の重要性とその難しさを、県内の獣害実態や最新のデータで見えてきた食肉副産物故のハードルから解説していく。また、解決に向けた必要な方策と、さらに展開していくうえで土に還るコンセプトの必要性について考察する。

11月12日(日) 第3回「屠体給餌プロジェクト報告会」

① なぜ野生動物が増えたのか？(イノシシプログラム)

【京葉学院ライオン校前】

発表者：TCA東京ECO動物海洋専門学校 学生

② 千葉市動物公園の屠体給餌プロジェクト経過

講演者：千葉市動物公園 教育普及啓発員 平田 絢子

内容：皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」や、屠体給餌プロジェクトの経過をお話します。

③ と体給餌コンソーシアムの取り組みについて

講演者：日本大学 生物資源科学部 動物学科 教授 細谷 忠嗣

内容：増え過ぎた野生動物による被害対策として捕獲が進められているが、捕獲個体の利活用が課題となっている。農林水産省では捕獲個体の利活用の推進として本年度から「と体給餌利用促進事業」をスタートした。この事業は千葉市動物公園他8団体で形成する「と体給餌利用促進コンソーシアム」が担っており、その活動内容について紹介する。

④ なぜ野生動物が増えたのか？(シカプログラム) 【京葉学院ライオン校前】

発表者：TCA東京ECO動物海洋専門学校 学生

⑤ なぜALSOKが、ジビエ事業を始めたのか？

講演者：ALSOK千葉株式会社 ジビエ工房 茂原 施設長 小嶋 栄、解体師 高山 良治

内容：(1) ALSOKグループ及びALSOK千葉株式会社のジビエ事業の今までの沿革の説明。
(2) 捕獲獣(猪)の回収、搬送、解体、部位分け、保管方法とトレーサビリティ内容の説明。
(3) 工房内施設の説明と衛生管理方法及びSDGsとの関連の説明。
(4) 屠体給餌への協力。

⑥ (研究報告)と体は衛生的と言えるのか？～細菌数を調べてみた～

講演者：豊橋総合動植物公園 動物研究員 伴 和幸

内容：野生動物を餌に使用する場合、感染症予防の観点から徹底した衛生管理が求められる。我々は中心温度65℃30分以上の殺菌等が施されたシカとイノシシのと体と、動物園で使用されている肉や野菜の細菌数(一般生菌、大腸菌群)を調査した。その結果、と体の細菌数は他の餌との差が小さく、給餌可能な衛生状態と考えられた。

⑦ (研究報告)野生動物由来の屠体肉の栄養評価

講演者：千葉市動物公園 研究員 中山 侑

内容：皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」の支援金により、屠体給餌の科学的検証を進めています。その一つに屠体給餌の栄養面での有用性及適切な栄養管理を行うための方法を検討しています。今回は現在の状況についてご報告させていただきます。

⑧ (研究報告)屠体給餌がライオンとブチハイエナの行動に及ぼす影響

講演者：東邦大学 大学院 理学研究科 修士課程1年、東邦大学 理学部 生物学科 准教授 井上 英治

内容：千葉市動物公園では、ライオンとブチハイエナに皮や骨がついたままの獣肉を与える屠体給餌が行われています。撮影された動画を用いて、屠体給餌が与える行動への影響について調査を進めており、今回の発表では、寝室でのライオンの夜間の行動への影響、第2回報告会で紹介したハイエナの夜間の行動との違いについて発表します。



屠体給餌プロジェクト報告会

【11月12日(日) 続き】

④ (研究報告) 屠体給餌がライオンとブチハイエナの行動に及ぼす影響

講演者: 東邦大学大学院理学研究科 修士課程1年生
東邦大学理学部生物学科 准教授 井上 英治

内容: 千葉市動物公園では、ライオンとブチハイエナに皮や骨がついたままの獣肉を与える屠体給餌が行われています。撮影された動画を用いて、屠体給餌が与える行動への影響について調査を進めており、今回の発表では、寝室でのライオンの夜間の行動への影響、第2回報告会で紹介したハイエナの夜間の行動との違いについて発表します。

野生動物との共生を考える

3月31日(日)

① 千葉県の子育てを通じて子どもたちに考えてもらいたいこと

講演者: 「猟師工房」代表 原田祐介 先生

内容: 千葉県における獣害の現状を知っていただき、人間の都合で殺めた命とどのように向き合うのか。未来に向けて何をすべきか?を猟師工房の取り組みを織り交ぜご紹介いたします。

② 千葉に生きた人と動物の関わりものがたり

講演者: 千葉市埋蔵文化財調査センター所長 西野雅人 先生

内容: 人類がほぼ肉食だった時代から今日まで、人と動物がどうかかわってきたか、大きな変化や、各時代のエピソードをお話します。

③ トークショー

講演者: 原田祐介×西野雅人×鎬木一誠園長

Academia animalium アカデミア・アニマリウム 千葉市動物公園 Chiba Zoological Park

2024年3月31日(日)

野生動物との共生を考える

13:30~14:00

千葉県の子育てを通じて子どもたちに考えてもらいたいこと

千葉県における獣害の現状を知っていただき、人間の都合で殺めた命とどのように向き合うのか。未来に向けて何をすべきか?を猟師工房の取り組みを織り交ぜご紹介いたします。

「猟師工房」代表 原田祐介 先生

14:00~14:30

千葉に生きた人と動物の関わりものがたり

人類がほぼ肉食だった時代から今日まで、人と動物がどうかかわってきたか、大きな変化や、各時代のエピソードをお話します。

千葉市埋蔵文化財調査センター所長 西野雅人 先生

14:30~15:00

トークショー

原田祐介×西野雅人×鎬木一誠園長

・時間: 13:30~15:00
・場所: 動物科学館1階レクチャールーム(席数150)
※受付は13:20から仮設給食案内所付近で実施します
・予約不要です。興味のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

飼育員特別ガイド

3月31日(日)

① 家族ってなんだろう?

~命のバトンをつなぐ生きものたちの多様なくらし~

講演者: 千葉市動物公園 職員

Academia animalium アカデミア・アニマリウム 千葉市動物公園 Chiba Zoological Park

飼育員特別ガイド 2023

家族ってなんだろう?
~命のバトンをつなぐ生きものたちの多様なくらし~

日付: 11月23日(木)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150

参加者には、千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!
※予約不要です。中学生以上を対象としていますが、どなたでもご参加いただけます。

コモンマーモセットの父子

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

風太20th Anniversary (全4回)

① 6月4日(日)

第1回 「レッサーパンダをもっと知ろう！」

講演者：千葉市動物公園 職員

内容：「レッサーパンダってアライグマ？」いえいえ、違うんです！
今回は実はよく知られていないことも多いレッサーパンダの生態について、他の動物とどう違うのかを交えながらお話していきたいと思
います。独自の進化をとげたレッサーパンダの世界をのぞいてみま
せんか？そして今年20歳を迎える千葉市動物公園の「風太」はど
んなレッサーパンダなのか、飼育員さんから教えてもらいましょう！

風太20th Anniversary 20th ANNIVERSARY

第1回 レッサーパンダをもっと知ろう！

日付：6月4日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※小学生に向けたものですが、どなたでもご参加いただけます。

② 6月17日(土)

第2回 「レッサーパンダをもっと知ろう!+α」

講演者：千葉市動物公園 職員

内容：「レッサーパンダってアライグマ？」いえいえ、違うんです！
今回は実はよく知られていないことも多いレッサーパンダの生態について、他の動物とどう違うのかを交えながらお話していきたいと思
います。独自の進化をとげたレッサーパンダの世界をのぞいてみま
せんか？そして今年20歳を迎える千葉市動物公園の「風太」はど
んなレッサーパンダなのか、飼育員さんから教えてもらいましょう！
お話の内容は第1回とほとんど同じなので、第1回を聞けなかった
方にもお楽しみいただけます。

風太20th Anniversary 20th ANNIVERSARY

第2回 レッサーパンダをもっと知ろう!+α

日付：6月17日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※小学生に向けたものですが、どなたでもご参加いただけます。

③ 7月5日(水)

第3回 「風太の誕生日特別講演」

講演者：濱田昌平

内容：当園で長らくレッサーパンダの飼育を担当されていた元職員の濱
田昌平さんをお招きし、この日に20歳となる風太について深〜くお
話をしていただきます。これまで知らなかった風太のことを沢山知
ることができるマニアック回です！

風太20th Anniversary 20th ANNIVERSARY

第3回 風太の誕生日特別講演

日付：7月5日(水)
時間：14:00~14:30
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※レッサーパンダの風太について深〜くお話しするマニアック回です。

④ 9月16日(土)

第4回 「レッサーパンダの知らない世界」

レッサーパンダは年をとるとどうなるの？

— 日本の動物園における高齢レッサーパンダの現在(いま) —

講演者：田中愛 先生 (井の頭自然文化園)

内容：日本の動物園では数多くのレッサーパンダが飼育され、その中
には高齢の個体も少なくありません。レッサーパンダが年をとるとど
のような変化があるのでしょうか？2015年に行なった42園館を
対象にしたアンケート調査と、12個体の行動データの分析をもと
にお話します。

風太20th Anniversary 20th ANNIVERSARY

第4回 レッサーパンダの知らない世界
井の頭自然文化園 田中愛先生

日付：9月16日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※レッサーパンダについての研究を紹介する回です。
中学生以上が対象ですが、レッサーパンダのことを知りたい方であればどなたでも参加できます。

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

大池セミナー（全4回）

① 7月22日(土)

第1回 「動物園と足もとの自然 Beyond the exoticism」

講演者：動物園ライター 森由民(もりゆうみん)先生
2014年に初めて大池の再生に取り組んだ先生です。

内容：世界のさまざまな珍しい動物に出逢えるのは動物園の大きな楽しみですが、それを「よその世界からの切り取り」にとどめる限り、動物たちとわたしたちのこれからの関係を考えると、もっと大切な動物園の役割は見失われてしまうでしょう。世界につながる動物園が、いつも踏まえるべき「足もとの自然」へのまなざしを、いろいろな園館の実例とともにお話します。

第1回 大池セミナー（全4回）
動物園と足もとの自然 Beyond the exoticism
動物園ライター 森由民先生

日付：7月22日（土）
時間：13：30～14：30
※受付開始は13：20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※中学生以上に向けたものですが、大池について興味のある方や、もっと知りたい方であれば誰でもご参加いただけます。

② 11月18日(土)

第2回 「千葉市における大池の意義そして外来種と獣害」

講演者：岡山理科大学教育推進機構 教授 辻維周(つじまさちか)先生

内容：政令指定都市である千葉市の真ん中にある大池は、大都会の中に手つかずの自然が残っている極めて珍しい存在です。その大池を次世代にもよりよい形で引き継いでいくのはどのようにしたらいいのかを、千葉市の歴史から考えていきたいと思えます。また千葉の各地で発生している獣害に対して、我々がとっている対策も併せてご紹介いたします。

第2回 大池セミナー（全4回）
千葉市における大池の意義そして外来種と獣害
岡山理科大学教育推進機構 教授 辻維周先生

日付：11月18日（土）
時間：13：30～14：00
※受付開始は13：20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※中学生以上に向けたものですが、大池について興味のある方や、もっと知りたい方であれば誰でもご参加いただけます。

③ 12月3日(日)

第3回 「大池で見つかった生きものについて ~主として池の中の生きもの解説~」

講演者：Hyper-Naturalist/東京都鳥獣保護管理推進員 木村幸一郎(きむら こういちろう)先生

内容：大池の中には、魚をはじめとする生きものが生息しています。いったいどんな種類の生きものが、どれくらい棲んでいるのでしょうか？第3回は大池の中に棲んでいる生きものについてご紹介いたします。

第3回 大池セミナー（全4回）
大池で見つかった生きものについて
~主として池の中の生きもの解説~
Hyper-Naturalist/東京都鳥獣保護管理推進員 木村幸一郎先生

日付：12月3日（日）
時間：13：30～14：00
※受付開始は13：20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※中学生以上に向けたものですが、大池について興味のある方や、もっと知りたい方であれば誰でもご参加いただけます。

④ 1月28日(日)

第4回 「動物園にいきもの広場をつくる」

講演者：いきもの文化研究所/元東京都井の頭自然文化園園長 成島悦雄(なるしま えつお)先生

内容：井の頭自然文化園の使われなくなった飼育展示場をビオトープとして再生しました。ビオトープに四季折々やってくる動物を観察することで、私たちの身の回りに、実はいろいろな動物がくらしていることに気づいてもらうことができます。

第4回 大池セミナー（全4回）
動物園にいきもの広場をつくる
いきもの文化研究所/元東京都井の頭自然文化園園長 成島悦雄先生

日付：1月28日（日）
時間：13：30～14：30
※受付開始は13：20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
※中学生以上に向けたものですが、大池について興味のある方や、もっと知りたい方であれば誰でもご参加いただけます。

千葉大学オープンセミナー（全3回）



① 9月23日(土) 兵(つわもの)と動物たち —軍記物語の世界から—

講演者：千葉大学 文学部 日本・ユーラシア文化コース 准教授 久保 勇

内容：軍記物語には、兵(つわもの)とともに闘った〈馬〉をはじめとして、多くの動物たちが登場します。ときに動物たちは戦場の勝敗をも左右した存在として描かれています。それらの記事から、当時の人々の動物への知識や観察眼を読み取ることができます。

千葉大学 オープンセミナー（全3回）

第1回 兵(つわもの)と動物たち —軍記物語の世界から—

講師：千葉大学 文学部 日本・ユーラシア文化コース 准教授 久保 勇 先生

日付：9月23日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！

② 10月21日(土) 動物の心を研究する

講演者：千葉大学文学部行動科学コース 准教授 渡辺 安里依

内容：ヒトとヒト以外の動物の認知能力に違いはあるの？ そもそも動物には心があるの？ これらの疑問を動物心理学の視点から、これまでの研究結果とともに、解説します。言語を使わない動物を対象とした心理実験の方法や、動物の認知能力を調べることの意義なども紹介します。

千葉大学 オープンセミナー（全3回）

第2回 動物の心を研究する

講師：千葉大学文学部行動科学コース 准教授 渡辺 安里依 先生

日付：10月21日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！

③ 11月19日(日) 動物と物語—グリム童話に見る人間と動物の関係—

講演者：千葉大学 文学部 国際言語文化学コース 助教 高田 梓

内容：ドイツ各地の物語を集めたと言われるグリム童話には、西洋の物語に典型的な動物観とそこから外れた動物の姿が共存しています。なかでも、動物と人間が交流する物語からは、当時の人間中心主義に反する思想が読み取れます。今回の講演では、グリム童話における人間と動物の関係を、皆さんと考えてみたいと思います。

千葉大学 オープンセミナー（全3回）

第3回 動物と物語 —グリム童話に見る人間と動物の関係—

講師：千葉大学 文学部 国際言語文化学コース 助教 高田 梓 先生

日付：11月19日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！※どなたでも参加できます。



東邦大学オープンセミナー「生き物の暮らしや形の不思議」(全5回)

① 9月2日(土) **ヘビの多様な捕食行動**

講演者: 東邦大学理学部 講師 児島庸介

内容: 動物の行動は驚くほど多様です。本講演では、さまざまなヘビの捕食行動を紹介し、動物の行動の多様性について考えてみたいと思います。

東邦大学 オープンセミナー (全5回)
生き物の暮らしや形の不思議
第1回 **ヘビの多様な捕食行動**
講師: 東邦大学理学部 講師 児島庸介 先生
日付: 9月2日(土)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!

② 10月8日(日) **DNAが明かす霊長類の恋愛事情**

講演者: 東邦大学理学部 准教授 井上英治

内容: 群れに複数のオスがいるニホンザルやチンパンジーでは、どのオスが父親か行動観察をしているだけではわかりません。本セミナーでは、DNA解析により明らかとなった意外な真実について紹介します。

東邦大学 オープンセミナー (全5回)
生き物の暮らしや形の不思議
第2回 **DNAが明かす霊長類の恋愛事情**
講師: 東邦大学理学部 准教授 井上英治 先生
日付: 10月8日(日)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!

③ 11月11日(土) **植物と共にくらす菌類**

講演者: 東邦大学理学部 准教授 下野綾子

内容: 陸上植物の8割以上は、菌根菌とよばれる菌類と一緒に暮らしています。菌根菌との共生の起源は、植物が生関係の1つです。菌根菌がいなくて発芽できない植物陸上に侵出した4.5億年前とされていて、最も一般的な共も知られています。植物と菌類の密接な関係を紹介します。

東邦大学 オープンセミナー (全5回)
生き物の暮らしや形の不思議
第3回 **植物と共にくらす菌類**
講師: 東邦大学理学部 准教授 下野綾子 先生
日付: 11月11日(土)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!
※予約は不要です。どなたでもご参加いただけます。

④ 12月2日(土) **両生類から読み解くホルモンとフェロモンの話**

講演者: 東邦大学理学部 准教授 蓮沼至

内容: ホルモンとフェロモン、これらは似て非なる生理活性物質と呼ばれるものです。本セミナーではイモリの生殖活動に着目して、ホルモンとフェロモンとはどんなものか、わかりやすく解説したいと思います。

東邦大学 オープンセミナー (全5回)
生き物の暮らしや形の不思議
第4回 **両生類から読み解くホルモンとフェロモンの話**
東邦大学理学部 准教授 蓮沼至 先生
日付: 12月2日(土)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!

⑤ 1月7日(日) **マイマイカブリの進化**

講演者: 東邦大学理学部 准教授 小沼順二

内容: マイマイカブリという昆虫を紹介します。マイマイカブリの体のかたち、大きさ、色が、どのように進化してきたのかを説明します。

東邦大学 オープンセミナー (全5回)
生き物の暮らしや形の不思議
第5回 **マイマイカブリの進化**
東邦大学理学部 准教授 小沼順二 先生
日付: 1月7日(日)
時間: 13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所: 動物科学館1階
レクチャールーム
席数: 150
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント! ※予約不要です。どなたでもご参加いただけます。

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

ちばZOOフェスタ・2023 生物多様性フォーラム

11月3日(金) 生物多様性フォーラム初日を飾る基調講演

① 生物多様性異変と新型コロナ

講演者：国立環境研究所 生物多様性領域室長 五箇 公一
(ごか こういち)

内容：生物多様性は人間という生物の生命維持の必須基盤であるとともに、人間社会の持続的発展のための環境基盤とされます。その生物多様性の劣化が招く様々な生態リスクと、劣化を招いている要因が、私たち人間の一人一人の日常生活といかに密接に結びついているかを解説し、生物・生態系と人間社会の共生のあり方について議論します。

② 生物多様性の宝庫・熱帯雨林

講演者：きょうと生物多様性センター長/京都大学名誉教授 湯本 貴和 (ゆもと たかかず)

内容：熱帯雨林は地球上の陸地面積の7%を占めているにすぎませんが、生物種全体の半数以上が生息しているといわれます。東南アジア、南米、アフリカの三大熱帯は、それぞれ個性的な魅力にあふれています。熱帯雨林の生物を紹介するとともに、彼らが置かれている現状と、わたしたちの生活とのつながりについて一緒に考えましょう。

③ パネルディスカッション 五箇 公一×湯本 貴和 『現在人における生物多様性のかかわり方』

内容：①なぜ生態ピラミッドがくずれたのか
②生物多様性が失われていくと人や動物はどうなるのか
③生物多様性を保つために動物園にできること

時間	内容	発表者
12:30~12:55	開会挨拶	齋藤 一誠 (千葉市動物公園園長)
13:00~14:10	生物多様性異変と新型コロナ 生物多様性とは何か、生物多様性の重要性、生物多様性の劣化による生態リスク、生物多様性の回復と保全の重要性について解説します。	五箇 公一
14:20~15:30	生物多様性の宝庫・熱帯雨林 熱帯雨林は地球上の陸地面積の7%を占めているにすぎませんが、生物種全体の半数以上が生息しているといわれます。東南アジア、南米、アフリカの三大熱帯は、それぞれ個性的な魅力にあふれています。熱帯雨林の生物を紹介するとともに、彼らが置かれている現状と、わたしたちの生活とのつながりについて一緒に考えましょう。	湯本 貴和
15:40~16:00	現在人における生物多様性のかかわり方	五箇 公一 × 湯本 貴和
4日 千葉市動物公園と連携する学生による共同研究発表		
13:00~13:10	開会挨拶	齋藤 一誠
13:15~13:30	展示施設のコツメカワウソにおける来園者の視線の影響	千葉科学大学4年生
13:35~13:50	来園者の有無によるフクロテナガザルの行動および生理反応への影響	茨城大学4年生
13:55~14:10	ザシエの嘔吐再来反応に及ぼす習性目クマ科の忌避行動の影響	茨城大学大学院2年生
14:25~14:40	千葉市動物公園の二ホンザルにおける食物採い行動	東京大学4年生
14:45~15:00	千葉市動物公園内のカラスの生息環境と糞量状況	東京大学4年生
15:05~15:20	Q.パシビロワって…動くんですか? A.動きません 千葉市動物公園における繁殖成功に向けた行動調査	北里大学大学院2年生
5日 動物園への提言と千葉市動物公園の「大池」の魅力		
13:00~13:10	開会挨拶	齋藤 一誠
13:15~14:10	生きた本物 多様性の動物園展示について 動物園は、動物を飼育して、その動物の生態や行動を観察し、動物の保護や教育に貢献しています。動物園の展示は、動物の生態や行動を観察し、動物の保護や教育に貢献しています。	森 由良
14:25~14:45	千葉市動物公園の大池生物調査 中間報告	本村 伸一郎 Hyper-Naturalist (東京大学大学院理学系研究科)
15:00~15:15	大池における鳥による捕獲物の違いについて	ROGEEA研究助手/専門学校生
15:20~15:30	閉会挨拶	齋藤 一誠

11月4日(土) 千葉市動物公園と連携する学生による共同研究報告発表

① 展示施設のコツメカワウソにおける来園者の視線の影響

発表者：千葉科学大学 学生

内容：コツメカワウソは、IUCNレッドリストで危急種に分類されています。絶滅に瀕している動物の多くは、行動学的研究が稀であり、動物園での研究も有用とされています。しかし、展示動物は来園者の刺激を常に受けています。今回の発表では飼育・展示施設において来園者の視線がある場合とそうでない場合のコツメカワウソのストレスに着目して、糞中のホルモン濃度や行動の変化について調査した結果について発表します。

② 来園者の有無によるフクロテナガザルの行動および生理反応への影響

講演者：茨城大学 宇根朱桃

内容：動物園の動物たちにとって、一日中来園者に見られていることはストレスになる。」そう思う人は多いかもしれませんが。実際、そのような研究結果も報告されていますが、一方で、退屈な展示状況におけるポジティブな刺激となる可能性も示唆されています。では、フクロテナガザルではどうなのか？今回は、フクロテナガザルを対象動物とした来園者による影響についての研究結果の一部をご紹介します。

ちばZOOフェスタ2023

【11月4日(土) 続き】

③ **サシバエの吸血飛来反応に及ぼす奇蹄目ウマ科の忌避行動評価**

講演者：茨城大学大学院 門田優人

内容：サシバエは双翅目イェバエ科に属する吸血性の昆虫です。雌雄問わず哺乳類から吸血し、ストレスの原因となったり感染症を媒介したりするなど、様々な健康被害をもたらします。一方、吸血する動物種に好みがあり、シマウマは比較的被害が少ないといわれています。そのため、同じ奇蹄目ウマ科の中で、サシバエの集まる数や行動、受けるストレスに違いがあるのかを比較し、どのような特徴がサシバエの忌避に影響するかを調べます。

④ **千葉市動物公園のニホンザルにおける食物洗い行動**

発表者：東邦大学 吉田彩乃

内容：宮崎県幸島におけるニホンザルのイモ洗い行動は動物の文化的行動として有名です。千葉市動物公園のニホンザルも、餌のイモやキャベツなどを洗う行動をしますが、幸島とは異なり、餌が砂などで汚れているわけではありません。では、どうして食べ物を洗うのでしょうか。本発表では、どのような個体が食物を洗っているかを紹介し、その理由に迫ってみたいと思います。

⑤ **千葉市動物公園内のカラスの生息環境と被害状況**

発表者：東邦大学 田中詩乃

内容：動物園は野生下よりも豊富で栄養価の高い、展示動物の餌や来園者の食べ物が手に入ることから、カラスの絶好の来訪場所になっています。一見可愛らしいカラスですが、展示動物の餌を奪ったり、攻撃したりなど、悪影響も及ぼしています。本研究では、千葉市動物公園内でカラスが好む場所や、ねぐらについて調査を行っています。今回は、動物園内でのセンサス調査の方法についてご紹介いたします。

⑥ **Q.ハシビロコウって・・・動くんですか？ A.動きます**

—千葉市動物公園における繁殖成功におけた行動調査—

発表者：北里大学大学院 石徹白ほのか

内容：野生では雨季の終わりから乾季にかけて繁殖するとされているが、飼育下での繁殖が難しく、動物園飼育個体における繁殖成功例が世界でたった2例しかないハシビロコウ。繁殖期と繁殖期以外でどのように行動が変化するのか千葉市動物公園の飼育個体を対象に実施した行動調査をもとに、行動学的視点、生理学的視点、環境要因との関連から繁殖適期や繁殖阻害要因を検討します。

11月5日(日) 動物園への提言と千葉市動物公園の「大池」の魅力

① **生きた本物 多様性の動物園展示について**

講演者：動物園ライター(Zoo Critic) 森 由民(もり ゆうみん)

内容：本物と言ひ、多様性と言っても、たださまざまな生きた動物を展示すればこと足りるのではなく、動物たちをどのように展示し、何を伝えるかが常に問われます。生息環境をキーワードに、ひとつの例解を述べてみます。

② **千葉市動物公園の大池生物調査 中間報告**

講演者：Hyper-Naturalist/東京都鳥獣保護管理推進員 木村 幸一郎(きむら こういちろう)

内容：千葉市動物公園内にある大池には様々な生物が生息しています。今では千葉市でも希少となった生物も生息が確認されていますが、外来種の影響も見逃せません。その現状を知り、今後の保全に向けて、今年度より生物の生息状況の調査を開始しました。現在までにわかったこと、今後どうしていくか、をお話したいと思います。

ちばZOOフェスタ2023

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

【11月5日(日) 続き】

③ 大池における罠による捕獲効率の違いについて

講演者：RGEEA研究助手(専門学生)

内容:現在大池では罠による外来種捕獲を実施しています。捕獲対象種は条件付特定外来生物に指定されているアメリカザリガニとアカミミガメの二種と、千葉市では外来生物であるクサガメの計三種。アナゴかご、カニかご、新型かごの罠三種や、釣り、ガサガサなどの捕獲方法を試した結果、その中で最も捕獲に効率がいいのはどれか、現時点までの検証結果を発表します。

動物園でデザイン学

1月21日(日)

① 千葉大学でデザインを研究する学生が動物園を見るとどう変わる?

講演者：千葉大学 工学部
デザインコース デザインマネジメント研究室 4年
川上 彩笑(かわかみ さえ)さん

内容:動物の色に着目する、人のファッションと結びつける、動物をキューブにしてみる…。デザイン学生の視点から動物をもっと新しく、もっと自由に知って学ぶアイデアを紹介します。簡単に体験できるワークショップも行うので、ぜひ一緒に新しい見方を考えてみましょう!



高校生による研究報告会

3月24日(日)

① 動物園動物の異常行動の特性とQOLとの相関

講演者：中根さん(高校生)

内容:動物園動物のQuality of Life (QOL=生活の質)を上げるためには、エンリッチメントを与える、展示場を拡張するなどの処置が必要と考えられますが、金銭的・敷地的な問題で処置が難しい場合も多くあります。この状況を少しでも良くするため、QOLはどのような要因で変動するのか、展示場の広さ、エンリッチメントの数などがどれくらい影響を与えるのかを調査しました。2か所の動物園で6種(アジアゾウ、キリン、ライオン、マレーバク、チーター、レッサーパンダ)の動物を対象に日中の行動観察を行い、採食行動、睡眠、同居個体とのコミュニケーション、常同行動などの割合を明らかにしました。また、展示場の面積やエンリッチメントの個数などを用いて「QOL指数」を算出して比較することで、QOLの違いによる生活の変化を考察しました。



*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

世界ゴリラの日 特別講演会

9月24日(日)

① **ゴリラとのエピソード**

講演者：千葉市動物公園 職員

内容：千葉市動物公園のゴリラたちについて、担当飼育員がお話します。

② **サイバネティクス - Gorilla in The Mist Project -**

講演者：木更津工業高等専門学校 栗本 育三郎 先生

内容：ダイアンフォッシー著「霧の中のゴリラ」に学び、ニシゴリラ生息地域ガボン共和国ロペ国立公園の環境情報に基づいたミスト噴霧コントロール装置の開発と千葉市動物公園ゴリラ舎での実験について紹介します。

③ **ゴリラとレアメタル**

講演者：千葉市動物公園 職員

内容：携帯電話やスマートフォンに含まれるレアメタルが及ぼす野生ゴリラの危機について、生息地の状況を交えて動物園とは違った角度からお話します。

「世界ゴリラの日」特別講演会

各回30分

<千葉市動物公園のゴリラについて>

① ゴリラとのエピソード

② 共同研究(木更津高専)

<野生のゴリラについて>

③ 現状と問題提起

日付：9月24日(日)
時間：13:30~15:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!
※中学生以上が対象ですが、ゴリラのことを知りたい方であれば子どもも参加できます。

アフリカントーク (全2回)

絵本やキャラクターで知名度のあるゴリラ。実際に見たことがある人はどれくらいいますか?日本で飼育しているゴリラは1990年の50頭をピークに減少を続け、現在では6園館20頭しかいません。種の保全是動物園が担う役割の一つですが、ゴリラの知見はマウンテンゴリラに関するものが多く、日本で飼育しているニシゴリラとは異なる生態をしています。千葉市動物公園ではニシゴリラらしい生活環境を整えるために、現在リニューアルを計画しています。ニシゴリラってどんな動物?住んでいる場所はどんなところ?など、ニシゴリラや彼らを取り巻く環境だけでなく、ギャップや魅力について一緒に共有できる時間になればと思います。

1月13日(土)

第1回 「ニシゴリラの生息地を訪ねたアフリカ旅行記」

講演者：千葉市動物公園 岡部 千裕(おかべ ちひろ)

内容：ニシローランドゴリラの生息地であるガボン共和国へ行った時のエピソードを交えてゴリラの魅力についてお話します。

1月27日(土)

第2回 「知られざる野生ニシゴリラの世界—20年の長期調査で見えてきたこと」

講演者：京都大学大学院 理学研究科 人類進化論研究室 助教
田村 大也(たむら まさや)先生

内容：動物園で人気のニシゴリラ。実は、彼らの野生下での暮らしは分かっていないことばかりです。日本とガボンの国際共同研究チームによるアフリカ熱帯林での長期野外調査から見えはじめた、野生ニシゴリラの社会について最新成果をお話します。

アフリカントーク
~ゴリラに魅了された人たち~

2024年1月13日(土)
ニシゴリラの生息地を訪ねたアフリカ旅行記

ニシローランドゴリラの生息地であるガボン共和国へ行った時のエピソードを交えてゴリラの魅力についてお話します。
岡部 千裕(千葉市動物公園)

2024年1月27日(土)
知られざる野生ニシゴリラの社会
—20年の長期調査で見えてきたこと

動物園で人気のニシゴリラ。実は、彼らの野生下での暮らしは分かっていないことばかりです。日本とガボンの国際共同研究チームによるアフリカ熱帯林での長期野外調査から見えはじめた、野生ニシゴリラの社会について最新成果をお話します。田村 大也先生(京都大学大学院 助教)

時間：13:30~15:00
※受付開始は13:20からです

場所：動物科学館1階
レクチャールーム(席数150)

中学生以上に向けたものですが、ゴリラに興味のある方や、もっと知りたい方であれば、子どももご参加いただけます。

公開飼育研究会

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

12月10日(日)

動物園の調査研究は、動物福祉の向上において非常に重要です。これまで園内の調査研究は、大学などの外部研究機関が主体となり共同研究として進めているものが多くを占めていました。一方で園職員が主体の研究は、職員が動物の基礎情報収集や環境改善などの取り組みを通じて様々なデータを取っていましたが、時間的・技術的な問題からデータをまとめて公表するまでに至らないケースが多くありました。そこで当園では2020年に教育・研究の取り組みを総称した「アカデミア・アニマリウム」プロジェクトを設立し、園内の調査研究を推進しています。その中で、園職員への研究フォロー体制を整え、担当動物を持つ正規職員一人一人が毎年研究テーマを設定しデータをまとめて発表する「一人一研究発表」の活動を行っています。

2021年・2022年には、担当動物を持つ獣医師・飼育技師の正規職員約15名「全員」が自身の調査研究についてポスター発表と口頭発表の両方を行い、一部は論文投稿も行っています。ポスター発表は、当園の動物科学館2Fの展示コーナーに掲出しており、来園者のみなさまにいつでも観覧していただけます。

2023年も当園職員による研究発表を行います。

- ① **園主体の研究の役割と「一人一研究発表」**
発表者：千葉市動物公園 研究員 中山 侑
- ② **レッサーパンダ、風太（高齢个体）の給餌形態の検討**
発表者：千葉市動物公園 樽川 修
- ③ **アミメキリンの給餌方法の改善～ヨウタクんの食事をより長くするため～**
発表者：千葉市動物公園 足立 仁之
- ④ **類人猿のハズバンドリートレーニング**
発表者：千葉市動物公園 中村 智行
- ⑤ **夜行性動物として展示されているムツオビアルマジロの活動時間と概日リズム**
発表者：千葉市動物公園 松本 和人
- ⑥ **新規導入ダチョウの馴致経過**
発表者：千葉市動物公園 千葉 茂
- ⑦ **ハシビロコウの飼育管理の変化が繁殖に及ぼす影響**
発表者：千葉市動物公園 水上 恭男

公開飼育研究会2023

職員による研究発表会を行います。
※千葉市動物公園では、担当動物を持つ正規職員一人一人が毎年研究テーマを設定しデータをまとめて発表する「一人一研究発表」の活動を行っています。

時間	演題	発表者
13:00-13:15	園主体の研究の役割と「一人一研究発表」	中山 侑
13:15-13:30	レッサーパンダ、風太（高齢个体）の給餌形態の検討	樽川 修
13:30-13:45	アミメキリンの給餌方法の改善 ～ヨウタクんの食事をより長くするため～	足立 仁之
13:45-14:00	カピバラの足底皮膚炎の治療	林 七海
14:00-14:15	類人猿のハズバンドリートレーニング	中村 智行
14:15-14:30	夜行性動物として展示されている ムツオビアルマジロの活動時間と概日リズム	松本 和人
14:30-14:45	新規導入ダチョウの馴致経過	千葉 茂
14:45-15:00	ハシビロコウの飼育管理の変化が繁殖に及ぼす影響	水上 恭男
15:00-15:05	おわりの挨拶	

日付：2023年12月10日(日)
時間：13:00～15:05
※受付開始は12:50からです
場所：千葉市動物公園 動物科学館1階 レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!
※予約不要です。中学生以上に向けたものですが、どなたでもご参加いただけます。

*「内容」はHPに記載していたものを転記しています。
講演者の敬称略。

科学館の動物ガイド（全4回）

- ① 12月24日(日) 第1回 アカテタマリン
- ② 1月2日(火) 第2回 ワタボウシタマリン
- ③ 1月4日(木) 第3回 クロミマーモセット
- ④ 1月14日(日) 第4回 コモンマーモセット

夏休み特別企画

8月11日(金)

① ペンギンラボ

講演者：松本さん(高校生)

内容：ペンギンや環境問題について誰でも楽しく学べます。

夏休み特別企画
ペンギンラボ
ペンギンと私たちが共存していくにはどうすればいい？

不二聖心女子学院高等学校1年 松本さん
ペンギンや環境問題について、小学生でも楽しく学べる内容です。

日付：8月11日(金・祝)
時間：13:30~14:00
※受付開始は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント!

ヒトと動物の関係学会

12月17日(日) 第131回例会

① コウモリと私たち

講演者：コウモリ写真家・ライター 大沢夕志様・大沢啓子様

ヒトと動物の関係学会 第131回例会
コウモリと私たち
コウモリ写真家・ライター 大沢夕志先生・大沢啓子先生

日付：12月17日(日)
時間：13:00~15:30
※受付開始は12:50からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
席数：150

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント! ※予約不要です。どなたでも参加できます。

2025年9月10日 発行
2025年11月8日 修正